

大阪公立大学都市科学・防災研究センター
先端都市特別研究員(若手)申請書(2022年4月採用分)

1. 応募者履歴等

(1 ページ以内で作成してください)

応募する 種目と資格 (番号を○で囲む)	① 「a. 有給」のみ ② 「b. 無給・研究費のみ」 ③ a で不採用なら b でも可	① 後期博士課程に在籍中 ② 単位取得済みかつ博士論文を執筆中 ③ 博士号取得済み
氏名 (ふりがな)	赤字は作成時に削除してください(以下同様)。 例: 市大 太郎(しだい たらう)	
氏名(英語)	例: SHIDAI Taro	
性別		
国籍		
生年月日		満年齢
学歴 (修士課程修了まで)	【学部】 ・卒業年月・大学・学部・学科名 【修士課程(前期博士課程)】 ・修了年月・大学院・研究科・専攻等名	
(博士課程および博士号)	【博士課程(後期博士課程)】 ・入学(予定)年月・大学院・研究科・専攻名 ・修了・退学(予定)年月 ・休学期間合計: 年 月 【博士論文】 ・博士取得大学 ・論文題目(予定) ・博士学位取得年月日(予定)	
研究歴・職歴		
現在(直近)の研究指導者	・所属・職名 ・氏名:	
採用後の受入研究者	・所属・職名 ・氏名	
採用後の研究指導者	・所属・職名 ・氏名	
採用後の所属機関(予定)		
現在の所属機関		
現住所	〒	
連絡先	(Tel)	(E-Mail)

年 月 日作成

申請者氏名

2. 研究計画

(様式の改変・追加は不可。ただし、点線で区切られる項目間で分量を調整することは可。)

2-1 研究内容

研究テーマ (日本語) ※40 字以内

研究テーマ (英語)

研究の背景 (これまでの研究の目的および成果との関連を明らかにすること)

研究の目的

研究の方法・体制

申請者氏名

2-1 研究内容(つづき)

研究の特色および任用期間終了後の展開

2-2 研究費

受入研究者の研究活動との関係

先端都市特別研究員として支給される研究費以外の財源

先端都市特別研究員として支給される研究費の使用計画
(2-1「研究内容」との関係が分かるよう、用途ごとに算出根拠と金額を記入すること。
最後に合計金額を算出する。20万円以内とすること。)

例：

○○に関する研究成果の学会発表にかかる旅費，大阪－東京間報復新幹線普通料金 25,000 円＋
宿泊費 8,000 円＝33,000 円

△△に関する聞き取り調査の対象者に支払う謝金，10 人×2 時間×1,500 円／時間＝30,000 円

××に関する電子ジャーナル購入費，10 編×3,000 円／編＝30,000 円

△△に関する聞き取り調査データ音声反訳にかかる業者委託費，20 時間×1,200 円／時間＝
24,000 円

合計 117,000 円

申請者氏名

3. 研究業績

(様式の改変・追加は不可。ただし、点線で区切られる項目間で分量を調整することは可。)

学術雑誌等に発表した論文・解説・総説または著書【査読有り】
学術雑誌等に発表した論文・解説・総説または著書【査読無し】
国際会議における発表
国内学会・シンポジウム等における発表
その他（特許、報告書など）

4. 研究助成金・奨学金等の受給実績

(様式の改変・追加は不可。ただし、点線で区切られる項目間で分量を調整することは可。)

日本学術振興会特別研究員
科学研究費補助金
その他の研究助成金
その他の奨学金
その他

申請者氏名 _____

大阪公立大学都市科学・防災研究センター
先端都市特別研究員（若手）（2022年4月採用分）
現在の指導教員による推薦書

（様式の改変・追加は不可。ただし、点線で区切られる項目間で分量を調整することは可。）

応募者氏名
評価者の所属・職・氏名
押印廃止
被評価者（申請者）との関係
申請者の研究能力に関する所見
申請者の研究者としての将来性を判断する上で参考になると思われる事項 （たとえば、受賞歴、留学経験、特色ある学外活動など）

大阪公立大学都市科学・防災研究センター
先端都市特別研究員（若手）（2022年4月採用分）
受入研究者による承諾書

大阪公立大学都市科学・防災研究センター所長 殿

共同研究プロジェクトの一環として下記応募者の受入研究者となることを承諾いたします。

年 月 日

受入研究者所属

受入研究者氏名

押印廃止

記

応募者氏名：

応募者所属：

研究課題：

以上